

学校保健論	3年・後期 (夏季集中)	2単位 15コマ	非常勤講師 新井 淑弘
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310932

1. 授業のねらい・概要

学校教育目標の具現化としての学校保健の位置づけを理解し、学校保健の実践が児童生徒の発達にどのような役割を担っているかを学ぶ。学校保健の意義と目的、行政と学校保健、法規に基づく学校保健の内容と組織、保健主事や養護教諭等の関係職員の役割などについて具体的な実践例をとおして学習する。

2. 学修の到達目標

1. 学校教育活動における学校保健の位置づけを理解できる。
2. 学校保健の意義と目的を理解し、関連法規に基づく教育活動を理解できる。
3. 学校保健を担う関係職員の役割や機能を理解できる。

3. 授業の進め方

講義

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	学校保健の目的と意義、領域構造、各領域の担当者等	講義	予習：学校保健ハンドブック第1章を読んでおく。 復習：学校保健の領域構造およびその担当者についてまとめる。	新井淑弘
2	学校全体で取り組む保健教育 各地域組織との連携	講義	予習：学校保健ハンドブックの第1章を読んでおくこと。 復習：学校内外の組織等との連携についてまとめること。	新井淑弘
3	学校保健組織活動、学校保健・安全の計画	講義	予習：学校保健ハンドブック第1章第3節、第4節をよく読んでおくこと。 復習：各自で学校保健・学校安全の年間計画を作成してみる。	新井淑弘
4	児童生徒の発育発達、疾病異常等（小児保健を含む）	講義	予習：学校保健ハンドブックの第8章を読んでおくこと。 復習：学童期の発育・発達の特徴についてまとめ、その時期に発生する健康障害について、発症頻度や重症度別にまとめること。	新井淑弘
5	児童生徒の健康状態の把握と指導（健康診断、健康観察等）	講義	予習：学校保健ハンドブック第12章を読んでおくこと。 復習：健康診断・健康観察の意義とその活用する方法についてまとめを行うこと。	新井淑弘
6	学校における感染症の予防と対応	講義	予習：学校保健ハンドブック第9章を読んでおくこと。 復習：学校における感染症の既存の対応方法についてまとめ、新しい感染症が流行した場合の学校としての対応方法について、自分の考えをまとめておくこと。	新井淑弘
7	児童生徒の精神の健康	講義	予習：学校保健ハンドブック第10章、11章を読んでおくこと。 復習：学齢期に発生しがちな心の問題についてまとめる。自殺やいじめの発生事例や	新井淑弘

			対応についてをまとめ、その予防方法について自身の考えをまとめること。	
8	喫煙，飲酒，薬物乱用防止教育	講義	予習：学校保健ハンドブック第5章を読むしておくこと。 復習：現在日本国内で行われている喫煙・飲酒教育についてまとめ、これから不足するであろう内容について予想して、対策を考える。薬物乱用については、その有効な教育実践についてまとめること。	新井淑弘
9	食育の推進と学校給食	講義	予習：学校保健ハンドブック第6章を読むしておくこと。 復習：現在の学齢期の子どもの食の傾向をまとめ、より良い食に関する教育実践について考察する。	新井淑弘
10	がん教育	講義	予習：学校保健ハンドブック第7章を読むしておくこと。 復習：がんに関する知識の追加補充，がん関連施設との連携の具体的な方法について検討を行い、まとめること。	新井淑弘
11	障害のある児童・生徒への健康上の支援	講義	予習：学校保健ハンドブック第13章を読むしておくこと。 復習：学校教育で問題となる「児童・生徒の障害」についてまとめでそれぞれについての既存の対応方法をまとめること。さらに、新しい問題について考察すること。	新井淑弘
12	学校環境衛生	講義	予習：学校保健ハンドブック第14章を読むしておくこと。 復習：学校環境衛生測定に関してその実施方法についてまとめること。また、新しい学校環境衛生に関わる問題が発生した場合に重要となる考え方や行動について考察すること。	新井淑弘
13	学校安全①（学校における事故・災害とその防止等）	講義	予習：学校保健ハンドブック第15章を読むしておくこと。 復習：学校における安全活動の構造についてまとめて、その発生の防止や被害拡大を防ぐ方法について考察する。	新井淑弘
14	学校安全②（安全教育，学校の防犯等）	講義	予習：セイフティープロモーションについて調べておくこと。 復習：学校活動全体で行うセイフティープロモーションについてその在り方や、効率の良い運営について考察すること。	新井淑弘
15	応急手当（心肺蘇生法，包帯法等）	講義	予習：学校保健ハンドブック第16章を読むしておくこと。 復習：新しい心肺蘇生法や応急手当についてまとめ、学校内での実施環境について考察する。	新井淑弘
16	定期試験	試験	第1回～第15回の授業で扱った内容について全て復習をしておくこと。	新井淑弘

5. 成績評価の方法・基準

平常点：30点，定期試験：50点，レポート等：20点により総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

教科書：①学校保健ハンドブック 教員養成系大学保健協議会（編）最新版
②学校保健マニュアル 南山堂 最新版

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

各回の授業受講までにテキストを使って予習をしておくこと。各項目 60 分～90 分程度の予習・復習の時間が必要となる。

8. 受講上の留意事項

1， 2 年次の一般教養科目の規定科目の単位を取得していること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

レポートや試験の解答・解法は実施後に口頭でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

該当しない。